



勉強は、なぜする必要があるのでしょうか

校長 鈿持 利行

2学期も始まって数日間が過ぎ、子どもたちも落ち着いた学校生活を送っています。今学期は、生徒会役員選挙、2年生の職場体験や合唱コンクールなど行事も多く、何をするにも一番良い季節です。子どもたちには実り多い秋となるよう、教職員一同気を引き締めて努力しております。今学期も保護者・地域の皆様には一層のご支援ご協力の程、お願いいたします。

さて、学ぶ目的は何か考えてみました。生徒の皆さん、保護者や地域の皆様、学校を応援してくださっている関係の皆様も一緒にお考えください。

- ① 新しいことが分かる(できる)ようになるのは楽しいから学ぶ
- ② 大人になってしたいことがある。そのために必要だから学ぶ
- ③ なりたい職業がある。その資格をとるために学ぶ
- ④ ノーベル賞がもらえるような優れた研究をするために学ぶ
- ⑤ 世の中のためになることができる基礎をつくるために学ぶ
- ⑥ 自分の家族を守り、幸せにするために学ぶ
- ⑦ 人生で成功するために、満足した人生のために学ぶ
- ⑧ 自分の納得のいく生き方を見つけ、そう生きていくために学ぶ

まだまだ、あるかもしれません。100人いれば100通りの生き方・考え方があってよいはずですから、その生き方を実現するために、「学ぶ」ということが捉えられていて、「学ぶ行動」が取れていればそれでよいように思います。地球上には数え切れないくらいの生命が存在しますが、他の生物に比べて人類が進化してきたのは、できないことや困難を何とかしようとして前向きに取り組んで克服してきたからだと言われています。今の自分を高めようと創造的に取り組んで学ぼうとする人は、やがて、自分の目標に達したり、自分の描いたものに近いものを獲得したりできると思います。

大切なのは、難しい数学の問題を研究する数学者も、世の中の人を感動させる小説家も、美味しいお豆腐を作る人も、安全で美味しい農作物を生産する人も、地震に崩れない道路や建物をつくる人も、スポーツや芸術に打ち込む人も、時刻表通り安全に乗り物を運転する人も等々。今に満足せず工夫と改善の毎日、すなわち学び続けているのです。今、高松中の皆さんは、これらの人々のように自分らしく生きる基礎をつくるために、あれこれ学んでいるのです。皆さんは、学びの内容を限定しないで、まんべんなく学び続けて欲しいと思います。高松中の先生方は、皆さんの学びを応援し続けてくれます。

元気一杯！2学年夏季学園のひとコマ

7月28日（火）から31日（金）の4日間、新潟県十日町にて2学年夏季学園が実施されました。すべての体験活動に生徒全員が参加でき、楽しく元気に過ごしてきました。特にラフティングと農家体験は人気があり、戻ってきた生徒の笑顔が印象的でした。それぞれの体験活動の様子を紹介します。



【布ぞうり】



【木の笛】



【自然観察学習】



【ラフティング】



【ラフティング】



【バーベキュー】

海外派遣出発式の様子

8月10日（月）港区役所で海外派遣の出発式が行われ、海外派遣生徒に選ばれた各中学校の代表生徒がやや緊張した面持ちで1階ロビーに集合しました。出発式での代表生徒あいさつは本校2年3組の清水理央さんが担当しました。以下はあいさつ文の抜粋です。

『私達は、海外派遣に応募してから今まで様々なことに全力で取り組んできました。全員が各々の目標や目的を持ち、少しでも自分の思いや感謝の気持ちを伝えられるよう英会話やアルバム作りを頑張ってきました。

その海外派遣も当日を迎えました。（中略）ここにいる全員がそれぞれの目標を持っています。ここでもう一度、一人一人の目標を明確にしたいと思います。そして緊張や不安も目標のための活力にしたいと思います。

私達は、それぞれの目標を大事にしながら皆で決めたスローガンである「開こう！未来への扉 広げよう！国際交流の輪」を意識してオーストラリアへ行って参ります。』

8月19日（水）全員元気に帰ってきました。



矢田 れい子（やだ れいこ）栄養士 出産・育児休暇中の服部千夏栄養士に変わり、2学期より矢田れい子栄養士が本校の給食を担当します。保育園・小学校・民間企業で勤務していた経験豊富なベテランです。あいさつ・返事・食べ物への感謝の気持ちを大切にしたい、この職業を選んだとのこと。夏休み中から意欲的に準備を進めてきました。どうぞよろしくお願ひ致します。